



## ティーエスケイ情報システム 株式会社

創 業 平成10 (1998) 年2月4日  
代表者 代表取締役CEO 高尾 忍  
社員数 55名 (男40名 女15名)  
本 社 島根県松江市学園南2-10-14

### 事業内容

情報通信機器の販売、システム開発・運用、ハード保守等

### 勤務地(採用エリア)

松江市、出雲市、江津市、浜田市、広島県

### 採用区分

新卒採用

キャリア採用

インターンシップ・キャリア

無

### 採用担当者からあなたへ

当社では若手社員が活躍できるフィールドが多く、理系出身者だけでなく文系出身の社員や、入社前はまったく知識のなかった社員も活躍しています。  
地域に貢献できるような仕事がしたい方、県内産業のIT化を推進していきたい方とお会いできるのを楽しみにしています！

経営企画本部  
吉岡 茜さん

採用に関するお問い合わせ先

0852-27-6061

公式サイトは  
こちら



マイナビは  
こちら



## 地域のICT環境をサポート

### 苦手意識を抱いていたIT業界へ。 成長する自分を実感

大学卒業後の進路を明確に抱けないまま就職活動をする中、友人たちに人気が高いIT業界が気になり始めた。「情報の授業でプログラミングを勉強したこともあったのですが、エラーばかり出て苦手意識を抱いていました。でも、企業説明会で訪れた時の当社の雰囲気の良さに惹かれ、未経験でも大丈夫という声に後押しされました」

入社後約2か月間は社外でネットワーク関連の基礎知識を学び、その後社内研修を積んだのち、今の部署に配属された。現在は、取引先の自治体庁舎で更新時期を迎えたパソコン端末約700台の設定作業を担当。セキュリティアプリのインストールや旧端末からのデータ移動などを行っている。「分からないことが多く、しばしば先輩の手を止めて質問してばかりです。でも分かりやすい言葉で教えてくれるので前向きになれ、少しずつ理解できるようになりました。学生時代を振り返ると、自分がパソコンを扱う仕事をするなんて想像もできませんでした」と苦笑する。今は、仕事が面白くなってきた。



システム部 システムコンストラクショングループ  
荒木 夕奈さん  
入社1年目



### 学校のICT環境整備に注力。 資格取得を経てレベルアップ図る

児童生徒に1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するなどして学校のICT環境を整備する「GIGAスクール構想」。小城さんは初年度の2020年度に続き、5年後の更新作業をメインで担っている。「新たに受け持ったり、前回と異なるOSを導入したりする市町村教委もあり、煩雑な作業に追われています」と汗をかく。学校現場に出向いてはWi-Fiを使えるよう環境設定を行い、サーバーに接続。間では20年度に設定した端末を使っている学校から、故障や不具合などのSOSを受けることも少なくない。「端末の異常やハードの劣化などが原因のことが多いですが、現場で対応し、使えるようになって喜んでもらえるとうれいですね」と話す。

GoogleとMicrosoftがそれぞれ提供するOSデバイスの管理者向け認定資格を取得。OSの運用、管理方法などを問われる内容のため、学校現場の端末更新作業にも生かされている。「近年はクラウドへの移行が著しい。他のクラウド関係の資格も取得し、よりスキルアップを目指したい」



システム部 ITインフラグループ  
小城 晃樹さん  
入社6年目



1 社員の平均年齢は36.5歳と若く、社内の雰囲気も明るい 2 部署を超えた連携も不可欠で、互いにコミュニケーションを取って顧客需要に対応している 3 「文教分野に加え、民需分野の開拓も進めたい」と話す高尾CEO。安来市を拠点に活動するビッグバンドではベシストの顔も持つ 4 社内には、周囲の視線を遮断して集中して業務を行えるスペースも

# 04

LEADING COMPANY

## ティーエスケイ情報システム 株式会社

● 情報通信機器の販売／システム開発・運用／ハード保守 など

## 変化に対応し、挑戦し続ける 地域DXを支えるプロ集団

システム開発・運用などのソフト事業から、情報通信機器の販売保守管理などのハード事業まで、トータルサポートする《ティーエスケイ情報システム株式会社》。地域DXの頼れるリーダーだ。

スポーツ・文化活動を支援  
地元密着でニーズに応える

クラウドやスマートフォンの普及に加え、人工知能が新たな価値を次々と生み出し、加速度的に変化する現代社会。高尾忍CEO(65)は、「DX化が進まないなど、課題を抱える企業は多い。各企業のニーズに合致したサービスを提案していきたい」と語る。25年度はDX推進部を新設。社内のインターフェースを改

善し、顧客へのアプローチを強化する。売り上げの8割以上を自治体向けが占め、中でも文教分野に強い。25年度は、GIGAスクール構想の更新が始まり、同社は島根県内で約2万6800台の置き換え作業を担う。「過去の実績が評価されたのだと考えています。機器の設定に加え、各種サポート業務も多く、社員は東奔西走しています」新規事業として力を入れているのが、部活動やクラブ活動など地域の子どものスポーツ・文化芸術活動支援だ。25年8月には、子どもたちとクラブや教室をつなぐプラットフォーム《クラブキャンパス》を開設、既に約200団体が登録した。活動のスケジュール管理や共有、指導員や保護者との連絡などさまざまな業務を一元管理できる有償サービスも提案しており、導入するスポーツクラブも出てきている。「中山間地域では活動に必要な人数が集まらないとも聞いています。DXの力で課題解決のお手伝いができれば」。学生時代、吹奏楽部や軽音楽部に所属し、現在もビッグバンドでベースを操る高尾CEO。好きなことに打ち込める喜びと、地域の実情の両方を知っているからこそ、言葉にも熱い思いがにじみ出る。